

ビタミンBook



発行: 箕田高等学校図書館



17号



2025.3

3月に入りました。今年の啓蟄^{ひいらぎ}は3月5日でした。暖かさに誘われて、冬眠していた生物がそろりそろりと活動を始めます。啓蟄は二十四節気のひとつです。二十四節気は季節の移り変わりを知るためのもので、約15日間ごとに24に分けられています。日付が固定されているわけではなく、今年は3月5日から3月19日が啓蟄です。啓蟄に入る日を啓蟄という場合もあります。

今冬は厳しい寒さでしたが、少しずつ春が近づいてきました。あんな虫やこんな虫など苦手な虫たちの活動も始まります。

和歌山県の学校司書が選ぶ

2024年度 わかイチ本 11の/ミネート作品

Instagram:@wakaichibook

- #『お梅は呪いたい』藤崎翔/著 祥伝社
- #『俺たちの箱根駅伝 上・下』池井戸潤/著 文藝春秋
- #『小鳥とリムジン』小川糸/著 ポプラ社
- #『地雷グリコ』青崎有吾/著 KADOKAWA
- #『死んだ山田と教室』金子玲介/著 講談社
- #『ステイ!ぼくとシェパードの5ヶ月の戦い』青谷真未/著 早川書房
- #『spring』恩田陸/著 筑摩書房
- #『成瀬は信じた道をいく』宮島未菜/著 新潮社
- #『みかんファミリー』榎月美智子/著 講談社
- #『みどりいせき』大田ステファニー・飲人/著 集英社
- #『夜と跳ぶ』額賀澤/著 PHP 研究所



/ミネートされた
11作品から、どれがイ
チ推しに選ばれるか

発表は3月7日

今年から始まりました

こんな本どうですか Part1

小説ではない本 特集

『スマホを置いて旅したら』

ふかわりょう(著)

スマホは便利だけれど、失ったものはないだろうか。利用ではなく、スマホに依存していないだろうか。

『情報活用のうまい人がやっている

3色ボールペンの使い方』

斎藤孝(著)

デジタル時代こそ「3色ボールペン」というアナログが最強

『わかイチ本』とは・・・

2023年11月から2024年10月の1年間に初版が出版された日本の小説・物語の中から高校生にすすめたい本を県内の司書が投票しました。

*文庫本は、投票できません。(書き下ろし文庫本や単行本を文庫として発行された本)

【図書館からのお知らせ】

春休み前の長期貸出を実施しています。

返却日 4月8日(火)

貸出冊数 ひとり5冊まで





♪♪新しく図書館に入った本♪♪



	書名	著者名	出版社	分類番号
1	リンカン「合衆国市民」の創造者(岩波新書 2054)	紀平英作	岩波書店	289.3
2	ビジネスと人権-人を大切にしない社会を変える(岩波新書 2052)	伊藤和子	岩波書店	335.15
3	自分ゴトとして考える難民問題 SDGs時代の向き合い方(岩波ジュニア新書 996)	日下部尚徳	岩波書店	369.38
4	ルポ軍事優先社会-暮らしの中の「戦争準備」(岩波新書 2053)	吉田敏浩	岩波書店	392.1076
5	なるには Books 教科と仕事 社会の時間(新版)	松井大助	ペリカン社	366.29
6	漫画 うっちゃれ五所瓦 ③ 粘り腰編	なかいま強	小学館	726.1
7	SPY×FAMILY⑮	遠藤達哉	ホーム社	726.1
8	司馬遼太郎「坂の上の雲」の視点	小林修	朝日新聞出版	748

【笠田高校 図書館のランキングあれこれ

(R6.4月～R7.2)】



【貸出ランキング 漫画】

- 1位 『葉屋のひとりごと』/日向夏(著)
- 2位 「転生したらスライムだった件」/伏瀬(著)
- 3位 『ブルーピリオド』/山口つばさ(著)
- 4位 『ブルーロック』/金城宗幸(著)
- 5位 『葬送のフリーレン』/山田鐘人(著)
- 6位 『サマータイムレンダ』/田中靖規(著)
- 7位 『タコピーの原罪』/タイザン5(著)
- 8位 『SAKAMOTO DAYS』/鈴木祐斗(著)

【貸出ランキング】

- 1位 『天帝妖狐』/乙一(著)
- 2位 『不便なコンビニ』/キム・ホヨン(著)
- 3位 『変な家』/雨穴(著)
- 4位 『変な家2』/雨穴(著)
- 5位 『本好きの下剋上』/香月美夜(著)
- 6位 『宙わたる教室』/伊予原新(著)
- 7位 『母という呪縛 娘という牢獄』/齊藤彩(著)
- 8位 『犯人は僕だけが知っている』/松村涼哉(著)
- 9位 『変な絵』/雨穴(著)
- 10位 『リカバリー・カバヒコ』/青山美智子(著)

【月別貸出状況】



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
貸出冊数(冊)	280	425	291	225	128	307	234	293	191	124	83

【こんな本どうですか？ Part2】

～小説ではない本特集～



『めんどくさい』がなくなる本

鶴田豊和(著)

「朝起きるのがめんどくさい」「学校に行くのがめんどくさい」

「友達関係がめんどくさい」など。めんどくさいことがいっぱい。ではその「めんどくさい」と思う心をどうやってなくしていけばよいか……。

『10代から知っておきたい

あなたを閉じ込める「ずるい言葉」

森山至貴(著)

「あなたのためを思って」「もっと早く言ってくれれば」「傷ついたのでいい経験だったね」などなど、言われると、何だかモヤモヤする言葉。

『10代から知っておきたい

あなたを丸めこむ「ずるい言葉」

貴戸理江(著)

「わたしたち友達でしょ」「世の中、そういうものでしょ」そんな「空気」や「ノリ」を強要する言葉＝「同調圧力」を社会学者が解説する



